

おのまち 地域おこし協力隊活動記

オンラインイベントに 参加しました！

地域おこし協力隊の阿井伸介です。

この記事を書いている2月上旬は非常に寒い日が続いています。私どもが小野町に来た時には暖冬で、「静岡から暖気を連れてきた」なんて言われたこともありましたが、協力隊として3年目の節目に「小野町が本気を出してきたな」と感じました。この強い寒気が農作物に良いも悪いも影響して、ほかの地域とは一味違うものになるのだなあと教えられる気がします。

さてこのたび、県中地方振興局から株式会社キッチハイクに委託された事業で「つむぐ、ふくしま」というイベントがあり、去る1月29日の夕方と2月6日のお昼の時間帯に、小野町代表としてオンラインで参加させていただきました。その名も「キッチハイク」です。よろしければインターネットで「キッチハイク 小野町」と検索してみてください。

このオンラインイベントは、事前に地域の食材を全国の視聴希望者へ送り、オンラインの向こう側の参加者と同じタイミングで料理をしながら食べてみるというものです。1回あたり約1時間半程度で、地元の料理を紹介するだけでなく、地域の魅力なども参加者にお伝えする内容となっています。

今回のイベントでは、北は秋田県から南は長崎県まで、まさに日本全国規模で小野町を知っていただくことができました。ほかの地域では、その土地で活動されている地元業者さんの商品を使っ



寒ちぢみほうれん草しゃぶしゃぶ

た料理とその業者さんの活動を紹介するといった内容が多かったようですが、小野町では地元密着で「寒ちぢみほうれん草」をしゃぶしゃぶにし、「笑漬^{いっしょ漬}をつけだれにして食べる、というシンブルな料理をメインにしました。そしてクラッカーにチーズと黒にんにくを載せたカナッペ、バナナアイスに黒にんにくを練り込んだスイーツを食べてもらいました。特にバナナアイスと黒にんにくの組み合わせは、作る段階では「味のイメージがつかない」という感想が多かったようですが、食べてもらうとかなり好評でした。

皆さんもぜひお試しください。

そのほか「釜めしやふじ」の熊谷加子さんによる「笑漬やいろいろな手仕事のお話、県の移住コーディネーター・蓬田守さんの移住に関するお話、町民有志による小野町の逸話」火伏地蔵の紙芝居など盛りだくさんの内容でお送りしました。

キッチハイクのスタッフさんも驚くほどのコメント数が寄せられ、かなり好評だったようです。2回目のイベントでは、閉会時間に終わらず時間が押ししてしまったほどでした。

今回のイベントが好評



黒にんにくカナッペ

今回の担当は…



阿井 伸介 隊員
担当／農業・6次化分野
主な活動場所／ペルサルーテ

だったのも、画面の向こうから参加してくださった全国の皆さんや、小野町から参加してくださった皆さんが一緒になって楽しんでくださったおかげだと思えます。ご参加いただいた皆さんありがとうございました。

このキッチハイクイベントを妻と共に準備してきましたが、オンラインイベントの催し方を学べる良い機会となりました。



撮影風景